

本文冒頭のよう、高齢者にとって孤独死は切実な問題だ。日本少額短期保険協会が昨秋に公表したデータ（15年4月）によると、「自宅内で死亡した事実が死後判明した一人暮らしの会社の家財保険加入者448人」の平均年齢は61・6

SNSを組み合わせて孤独死を防止  
神奈川県内の女性4人（いずれも70代後半）が、高齢者施設の入居体験と一緒に行く約束をしたところが、当日、集合場所に来たのは3人だけ。迎えに行くと、玄関の鍵が開いていた。一人が先に入ると、悲鳴を上げた。来なかつた女性がこたつでうつぶせになっていた。

施設を紹介し、3人に同行していたのは、横浜市で不動産業を営む飯島重善さん。3年ほど前の「あなたのいばしょ」のチャット相談で、慶應義塾大学3年の大空幸星さんが昨年3月に立ち上げた。毎日24時間、対応する。相談件数は昨年12月末までに2万9千近くに達した。「ほかに相談相手がないなくて、ここに相談に来た」といった声が寄せられているという。相談に来る人の8割は10、20代が占めるが、高齢者でもスマートフォンで簡単にチャットができる。書

なたのいばしょ」のチャ

ット相談で、慶應義塾大

学3年の大空幸星さんが

昨年3月に立ち上げた。

毎日24時間、対応する。

相談件数は昨年12月末ま

でに2万9千近くに達し

た。「ほかに相談相手が

いなくて、ここに相談に

来た」といった声が寄せ

られているという。相談

に来る人の8割は10、20

代が占めるが、高齢者で

もスマートフォンで簡単

にチャットができる。書

最近では、NPOや企業がSNSなどを組み合わせた見守りサービスを提供している。  
NPO法人「エンリッチ」は、無料通信アプリ「LINE」を使ってスマートフォンで確認できる。女性の利用が圧倒的に多いという。

「周りに迷惑をかけたくないとか、ペットを巻き添えにしたくないという方もいます」（紺野功代表理事）

日本看取り士会は警備大手のセコムと提携し、「みまもりホン」を活用する。安否確認のため利用者に「元気です」とボタンを押してもらい、連絡がなければ同会認定の「看取り士」が電話や訪問をする。加入料1万6

千円、月8800円（税別）。同会の柴田久美子会長は、利用者について「どこか不安を抱えている方がほとんどです」と言う。早稲田大学の石田教授は、働き盛りの50代男性も孤独死のリスクが高いと指摘する。

「助けて」というのは努力不足で、人の迷惑になると考へてしまう

自助にこだわらず、困ったときは人に頼りたい。

大空さんは国として孤独・孤立対策に取り組むことを求め、昨年12月に政策提言を自民党の青年局に持ち込んだ。

「孤独対策の法制化と大臣の設置をお願いしています。孤独の定義も統計もないので、まず作ってほしいです」

菅義偉首相は2月12日、坂本哲志地方創生担当相に孤独・孤立問題を担当するよう指示した。

「あなたのいばしょ」の大空幸星さん（左上）、電話相談を受ける「いのちの電話」の相談員（右下）、孤独死した住人の遺体が見つかったアパートの一室=大阪府豊中市（右上）



国の抜本対策はこれから

# いのちの電話、あなたのいばしょ… 禍で孤独に悩む人は相談窓口の利用を

## 自殺理由が孤独感の人の割合と順位

年代(歳)	割合	順位
75~79	3.3%	⑦
80~84	4.0%	⑥
85~89	5.8%	
90~	8.6%	
75~79	3.9%	
80~84	5.5%	④
85~89	7.3%	④
90~	10.0%	③

2020年版自殺対策白書から

自殺理由として、「孤独感」は年齢階層が上がるごとに割合が増えている（上の表参照）。特に90歳以上の男性では理由の第2位だ。

不要不急の外出自粛を求められるコロナ禍では、全世界にわたって孤独の問題が深刻化。厚生労働省では孤独対策の一環とし

連盟によると、自殺を考えている人は、年代を問わず、孤独、孤立、話す人がいないということが大きな要因だという。

孤独感を覚えたり、悩みがあつたりしたら、まずは電話で相談するのもいいだろう。

また、コロナ禍でも相談対応を十分できるよう、連盟は相談員を募る。SNSの相談窓口もある。その一つがNPO「あ

いだらう。孤独感を覚えたり、悩みがあつたりしたら、まずは電話で相談するのもいいだろう。

また、コロナ禍でも相談対応を十分できるよう、連盟は相談員を募る。SNSの相談窓口もある。その一つがNPO「あいのちの電話」だ。運営によると、自殺を考えている人は、年代を問わず、孤独、孤立、話す人がいないということが大きな要因だという。

## 主な相談窓口

電話	このろの健康相談統一ダイヤル 0570-064-556 よりそいホットライン 0120-279-338 同（岩手、宮城、福島各県から） 0120-279-226 いのちの電話（ナビダイヤル） 0570-783-556 同（フリーダイヤル） 0120-783-556	相談対応の曜日・時間は都道府県によって異なる 24時間対応 24時間対応 毎日10~22時 毎日16~21時、毎月10日8時~翌日8時
SNS	NPO法人自殺対策支援センター「ライリンク」 <a href="https://www.lifelink.or.jp/">https://www.lifelink.or.jp/</a> NPO法人東京メンタルヘルス・スクエア（3月31日まで） <a href="https://www.npo-tms.or.jp/">https://www.npo-tms.or.jp/</a>	月、火、水、金、日の17時~22時30分（22時まで受付） 水の11時~16時30分（16時まで受付） 12~16時（15時まで受付）、17~21時（20時まで受付） 毎月最終の土~日の21~6時（5時まで受付）、7~12時（11時まで受付）

厚生労働省のホームページから